

- △十月十五日には大阪市に於て支部結成實行委員會が開催され、大阪支部聯合會を設置、川上胤三氏會長となり産業都市大阪に於て將來明倫運動の擴大強化を圖る事を申合せた。
- △十月二十四日弘前支部は發會式をあげ松本與三郎氏支部長となる。
- △十一月三日、明治節を下して札幌支部が雄々しい發會式の叫びをあげ、三阪隆精氏支部長に就任。
- △十一月五日には函館支部發會式をあげ長岡清三郎氏支部長となる。
- △十一月十五日に至り、現齋藤内閣が組閣以來一年有半を経過せるに不拘、未だ國難打開の國策に何等の見るべきものなく、徒らに儉安姑息、全く國民待望の重任を完ふし得ざるに鑑み、本會に於ては斷乎として、齋藤内閣反對を申合せ、その理由を列示し、田中總裁の名の下に之れを天下に聲明した。
- △次で、十一月十八日、高橋蔵相及び陸海軍大臣に對しては、危局善處の勸告書を作成渡邊、西達、芹澤、三幹事が之れを携へ、それぞれ各大臣を官邸に訪問、主旨を開陳して之れを手交し激勵、勸告するところがあつた。
- △十二月一日、本會がさきとその無能を指摘して存続反對を聲明したる齋藤内閣に對し、辭職を勸告する事に決し、幹部會に於ける決議文を携へ、奥平、渡邊兩中將が齋藤首相を官邸に訪問、之れを手交し、正義に立脚せる本會の行動を天下に明示し、一般に多大の衝動を與へた。
- △十二月五日、松山支部に於ては、明倫主義に立脚して地方自治政改革のため、市議改選を好機として市政淨化の一大運動を行ひ、多大の効果を收めた。

- △京都市に於ける本會々員等は結束して、多年腐敗瀾濁せる市政改革闘争に果敢なる第一歩を踏み出し、一月十五日齋藤京都知事を訪問して市政改革に對する所見を質し、警告的陳情を行つたのを初めとして、二月廿日、右代表者は上京、本會及び内務省を訪問、本部及び全國各支部の後援下に既成政黨の積弊打破と自治政淨化に奮闘、この状態は全國的に擴大せんとしてゐる。
 - △十二月廿三日、皇太子殿下御降誕の號外に接したため本會では緊急幹部會を開き、謹んで賀表を捧呈し、滿腔の祝意を表した。
 - △十二月廿三日、鹿兒島支部が發會。谷山國信氏支部長に就任。
 - △十二月廿九日、皇太子殿下御命名式當日には本部に於て賀宴を開いて御皇室の御繁榮と、皇運の長久を壽ぎ奉つた。
 - △越えて、昭和九年一月十九日には熊本支部が莊嚴なる發會式をあげ、全縣下を明倫主義を以て風靡したかの觀を呈した程盛大を極めた。陸軍中將木村恒夫氏支部長となる。
 - △一月二十二日には宮崎縣都城市に於て支部發會式が行はれた。支部長鶴田圭朔氏。
 - △門司支部は一月二十三日發會式を舉行した。永島敬三郎氏支部長となる。
 - △一月二十四日には鹿兒島縣加治木町に於て分會の發會式があつた。
- かくして本會の隆々たる會勢は正に旭日昇天の勢を示し、北は樺太、千島から南は臺灣に至る迄全國各地に會